

11/10 須藤

19年度医療費総額 44兆円で過去最高

1人当たり 8600円増

の三十五万一千八百円。いずれも過去最高を更新した。

厚生労働省は九日、二〇一九年度に病気やけがの治療で全国の医療機関に支払われた医療費の総額（国民医療費）が、前年度比九千一千六百円増（2・5%増）

占める割合は11・06%。年代別では、六十五歳以上の高齢者が二十七兆六百一十九億円で全体の61・0%を占めた。

近年は、高齢化の進行や、医療技術の高度化で費用の伸びが続いている。二〇〇年以降は新型コロナウイルスが流行し、感染リスクを恐れた受診控えで医療費が減つており、次の二〇年度総額にはその影響が反映される見込み。

厚生労働省は九日、二〇一九年度に病気やけがの治療で全国の医療機関に支払われた医療費の総額（国民医療費）が、前年度比九千一千六百円増（2・5%増）

兆一千八百三十七億円（11・7%）だった。

診療種類別では、医科診療が三兆九千五百八十三億円で全体の72・0%。

医療費を貯う財源では、国民や企業が負担する保険料が全体の49・4%に当たる。医療費を貯う財源では、国民や企業が負担する保険料が全体の49・4%に当たる。

薬局調剤は七兆八千四百十一億円、歯科は三兆百五十億円だった。

国民医療費は、保険診療の対象となる病気やけがの治療にかかった費用の推計。保険外診療や健康診断、予防接種などは含まない。